

議会だより ふだい



岩手県普代村議会

No. 161

令和4年4月11日10日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。



雨にもマケズ

令和4年度はまゆり子ども園運動会

主な内容

- 9月定例会概要（令和3年度決算審査等）…………… 2頁～
- 一般質問（4議員が村政を問う）…………… 10頁～
- 視察研修（青森県内施設の視察研修報告）…………… 14頁～
- 臨時会・その他…………… 16頁～

9月定例会

地域おこし協力隊受入事業など

4610万円を増額！

村議会第7回定例会（9月定例会）が9月13日～15日まで3日間開かれました。

内容は、令和4年度の一般会計と6特別会計の補正予算、固定資産評価審査委員の選任同意、教育委員の任命同意など10議案が審議され、全員賛成で原案可決・同意されました。また、令和3年度一般会計および6特別会計決算の認定は、7会計とも全員賛成で認定されました。内容は次のとおりです。

心地のいい「第三の場所」のこと。

地域で宿泊体験レビュー事業

村内の宿泊施設の利用者に対する宿泊助成に係るもので役務費16万5千円、補助金360万円の増額をするもの。村内宿泊施設の利用者の増が期待されます。

**一般会計
補正予算
3976万円増**

▽令和4年度一般会計補正予算（第5号）
歳入歳出に3976万4千円を増額し、総額で37億7378万2千円となりました。
主な歳出は、地域おこし

協力隊受入事業246万2千円、地域で宿泊体験レビュー事業376万5千円、村道補修工事費1450万円などが増額されました。

地域おこし協力隊受入事業は、サードプレイス人材の受入事業。村道補修工事費は、11カ所の村道を補修工事するものです。
※サードプレイスとは、自宅でも職場でもない、居

宿泊体験レビュー事業により集客増が期待されるくろさき荘



定例会での質疑

議案第1号

協力隊の受け入れプロセス(過程)は

大上智 議員



問 受入れプロセスにおける委託先会社（株式会社アースカラー）への委託内容は。

答 佐々木政策推進室長

人口問題解決のため村の責任において、移住者の誘致、仕事モデル、伴走支援の部分についてノウハウを有する会社に委託し、相談・協議しながら事業を進めている。

議案第1号

くろさき荘での宿泊助成は

森田幸一 議員



問 宿泊体験レビュー事業で、国もウィズコロナで宿泊助成を本格的に始める話もあるが、くろさき荘の宿泊に対しても助成するのか。

答 森田休養施設管理員

国が進めていることに村でも沿った形で今後も継続していきたいと考えている。

議案第1号

健康スマイレージアプリ化事業の内容は

金子泰男 議員



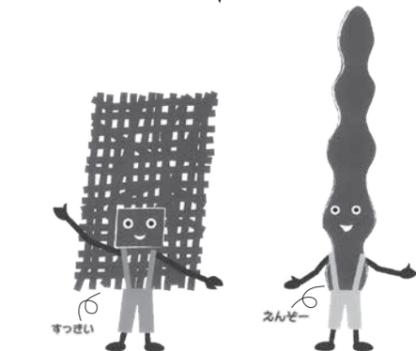
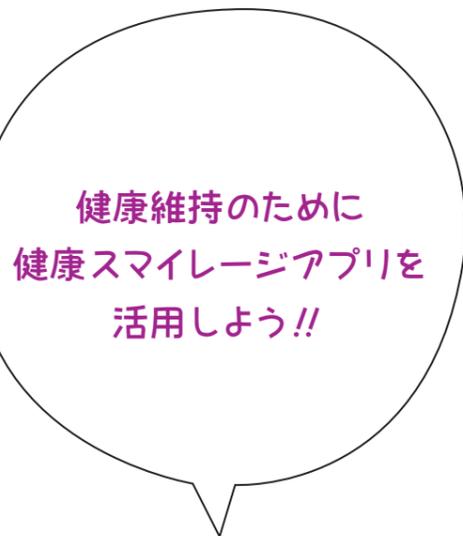
問 健康スマイレージアプリ化事業で健康維持管理がどのように変わるのか。どのような年代、各地域が参加されているか、人数も伺う。

答 道下住民福祉課長

健康スマイレージ参加者は240人を超えた。50代以上が多く女性が多い。地域別の集計したものはないが全地域の方々が参加している。アプリ化すればスマートフォンでポイントを管理できる。また、役場でも全体のポイントを管理し、イベント等の通知を行える。



ポイントが付与される事業の様子



定例会で決まった議案

議案番号等	議案等	審議結果
議案第1号	令和4年度 普代村一般会計補正予算（第5号） 補正額 3976万4千円を増額し、歳入歳出予算の総額を37億7378万2千円とするもの。 歳出では総務費で、地域おこし協力隊受入事業に係る委託料239万4000円を増額。（10/1着任予定）衛生費で、新型コロナウイルス感染症感染予防対策用品（抗原検査キット）の購入費と4回目ワクチン接種に係る委託料を合わせて167万5000円増額。 農林水産業費で、林業費の森林経営管理制度に係る実施調査委託料（8.02ha・23筆）93万7000円、水産業費の沢漁港と白井漁港船揚場堆積土砂等撤去分として漁港施設維持修繕工事費320万円などをそれぞれ増額。 観光費で、地域で宿泊体験レビュー事業376万5000円を増額し村内宿泊施設利用者（300人分）の宿泊助成など。土木費で、村道補修工事費（10カ所）1450万円と沢港線落石対策工事430万円の増額。	可決 (全員賛成)
議案第2号	令和4年度 普代村国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 補正額 16万5千円を増額し、歳入歳出予算の総額を4億2796万5千円とするもの。 未就学児均等割保険料システム改修委託料の増額。	
議案第3号	令和4年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第3号） 補正額 267万9千円を増額し、歳入歳出予算の総額を2億997万2千円とするもの。 消費税納付金95万円やルームエアコン購入費33万9000円の増額など。	
議案第4号	令和4年度 普代村簡易水道特別会計補正予算（第2号） 補正額 263万2千円を増額し、歳入歳出予算の総額を1億263万2千円とするもの。 消費税納付金の増額。	
議案第5号	令和4年度 普代村休養施設事業特別会計補正予算（第4号） 補正額 65万5千円を増額し、歳入歳出予算の総額を1億3632万1千円とするもの。 人件費の増額。	
議案第6号	令和4年度 普代村漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号） 補正額 5千円を減額し、歳入歳出予算の総額を3179万5千円とするもの。 職員給料分50万円を減額調整、太田名部水門のマンホールポンプ場（地下水流入防止）修繕料49万5000円を増額。	
議案第7号	令和4年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号） 補正額 20万9千円を増額し、歳入歳出予算の総額を3370万9千円とするもの。 保険料還付金の増額など。	
議案第8号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 国家公務員の人事院規則の一部を改正する規則の施行に伴い、国の制度に準じた改正を行うもの。 資格要件の緩和や拡充など。令和4年10月1日から施行。	
議案第9号	普代村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること 任期満了に伴い、現固定資産評価審査委員会委員中居昭彦氏（鳥居）の再任に関し同意を求めるもの。 任期は、令和4年10月1日から3年間。	
議案第10号	普代村教育委員会委員の任命に関し同意を求めること 任期満了に伴い、現教育委員会委員島山智美氏（力持）の再任に関し同意を求めるもの。 任期は、令和4年10月1日から4年間。	
報告第1号	令和3年度 普代村の財政の健全化判断比率及び資金不足比率	—
認定第1号	令和3年度 普代村一般会計歳入歳出決算の認定	認定 (全員賛成)
認定第2号	令和3年度 普代村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第3号	令和3年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第4号	令和3年度 普代村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第5号	令和3年度 普代村休養施設事業特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第6号	令和3年度 普代村漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第7号	令和3年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	

人事

固定資産評価審査委員に中居氏再任
任期満了に伴い、中居昭彦氏（鳥居）の選任につき、全員賛成で再任することに同意しました。
任期は、令和4年10月1日から3年間です。

教育委員に島山氏再任
任期満了に伴い、島山智美氏（力持）の任命に関し、全員賛成で再任することに同意しました。
任期は、令和4年10月1日から4年間です。

定例会での質疑

議案第5号

くろさき荘の今後の集客戦略は

嵯峨典行 議員



問 くろさき荘についてこの先どういった戦略で集客を図って収支を上げていくのか伺う。

答 森田休養施設管理員

イクラやマツタケ、イカを使った料理提供企画を行っていきたい。あとは鶴鳥神楽を見るツアー、みちのく潮風トレイル、普代水門の視察をしたあとに番屋飯等、宿泊と体験をセットにしたメニューを開発していきたい。



番屋飯で提供されているカケホ丼

議案第1号

住宅リフォーム促進事業の補助率増を

古沼和也 議員



問 住宅リフォーム促進事業に40万円支出しているが補助率を上げ、住宅のリフォームだけでなく、擁壁などにも拡充したほうがいいと思うが見解を伺う。

答 太田副村長

他市町村を参考にした補助事業だったと思うが、10年以上経過しているので新年度予算に併せて検討したい。

議案第1号

修学旅行の予定は

正路正敏 議員



問 修学旅行はまだ先のことが予定通り実施ということで受けとめていいか伺う。

答 菅野教育次長

現段階では実施と考えている。

議案第5号

歳出の一般財源についての説明を

大上浩史 議員



問 歳入の65万5千円について食堂収入・売店収入とあるが、歳出では一般財源でまかなうということなのか。どういうふうな解釈すればよいか伺う。

答 森田休養施設管理員

休養施設の財源であり、くろさき荘の一般財源で、村からの繰入金をいただくというのではない。



くろさき荘の売店



古沼 和也 決算特別委員長

令和3年度の決算を認定

村政のさまざまな分野で活発な意見

決算特別委員会（古沼和也委員長・委員8人）は9月14日から行われ、令和3年度の一般会計決算と6特別会計の総額58億8144万9千円を審査しました。村政のさまざまな分野で質疑が行われた結果、全員賛成で原案のとおり認定しました。その中の質疑と答弁を抜粋してお知らせします。

監査意見

効果的な行政運営を

和久喜美男 監査委員
 おおかみ ひろし 監査委員
 大上 浩史 監査委員

一般会計と特別会計の決算総額は、歳入55億4611万5千円、歳出54億1002万5千円で、前年度に比べ、歳入で10・14%の減、歳出は8・02%の減となっている。主な要因は、令和元年度台風19号災害に係る災害復旧事業の減によるものである。

村の財政は、厳しい財政状況が続いているが、令和3年度は、特別交付税が交付され、地方交付税は総額で17億983万1千円となり、前年度に比べ1・72%の増となった。

本年度は、ふるさと納税を活用した地域産業促進事業、地域活動拠点集会施設整備事業、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業、台風19号被害にかかる公共土木施設災害復旧工事、橋梁長寿命化修

繕事業等が実施された。翌年度へは3億2828万円を繰り越している。

実質公債費比率については、起債現在高も多額であり、公債費負担適正化計画に基づき地方債の借り入れ抑制等をした結果、9・4%で前年度の9・6%を0・2ポイント下回っている。

一般会計予算の歳入の36・89%を占める地方交付税は、今後増加は期待できず厳しい財政状況が予想されるが、村民の行政に対する期待は大きく、財政需要はさらに増大するものと思われる。事務事業の執行に当たっては、優先度、緊急度を十分考慮することも、最小の経費で最大の効果が得られるよう一層効果的な行政運営に努められたい。

ふるさと納税を活用した地域産業促進事業 (政策推進室担当) 1億7,188万円

ふるさと納税の推進を図り村内産業の活性化に寄与することを目的として、平成26年12月1日より村特産品贈呈の運用を開始した。令和元年度に2つ、令和2年度に2つ、令和3年度にもさらに2つのポータルサイトを追加した。「株式会社青の国ふだい」へ一部業務を委託している。

児童福祉対策事業 (住民福祉課担当) 7,611万円

主な児童福祉対策事業として
 ○普代村育児祝金
 出産した保護者に対する育児祝金の給付で165万円の給付
 ○子ども、妊産婦及び児童生徒医療費助成費
 医療費に対する助成で子ども助成額が429万9千円で妊産婦助成額が102万1千円

地域活動拠点施設(集会施設)整備事業 (政策推進室担当) 5,907万円

今後の地域振興と活性化を図ることを目的として、老朽化した旭日区地域活動拠点施設(旧はまゆり会館)を解体し、新たな集会施設の整備等を実施した。



新たな旭日区地域活動拠点施設

地域活性化拠点施設「道の駅」整備事業 (建設水産課担当) 7,936万円

道の駅整備に向け、トイレの新設、場内のバリアフリー化など施設等整備工事を行った。



新たに設置されたトイレ

その他、主な事業(内容)

・村営バス及び周遊観光バス運営事業(村営バス2台で4路線を1日15往復運行)	943万円
・地域おこし協力隊受入事業(総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用)	1,872万円
・青の国魅力情報発信事業(「青の国からふだいラジオ」を実施)	488万円
・新型コロナウイルスワクチン接種対策事業(接種実施者5600回分など)	1,276万円
・国立公園利用拠点整備支援事業(黒崎園地内修景伐採業務等)	2,244万円
・ふだいイベント開催事業補助金(音楽の広場及びビーチヨガ)	230万円
・橋梁長寿命化修繕事業(普代橋橋梁補修工事等)	1億1,215万円
・浸水対策ポンプ設置事業(雨水を排水するポンプの設計及び土木工事)	7,366万円
・学校給食事業(児童・生徒の学校給食費の無償化分)	3,417万円

令和3年度決算

主な事業ピットクアツプ

決算特別委員会 質疑

農林水産業費

担い手の農地面積は

森田幸一 委員



問 農地中間管理事業について、担い手の農地の貸し出しをしている場合、その面積は。

答 山崎農林商工課長

和野山の佐々木農場、岩泉の農業公社で約50ヘクタールほど耕作をいただいている。

担い手よりも後継者自体がいない農業者が多く、苦慮している部分である。

村税

村税滞納繰越

大上智 委員



問 村税の滞納繰越額1157万9千円の内訳は。

答 高井税務出納課長

村県民税64件403万3千円、固定資産税198件739万2千円、軽自動車税14件15万4千円の合計276件なので117名となっている。

国民健康保険特別会計

収入未済額が前年度とあまり変わっていないが

金子泰男 委員



問 国民健康保険税の収入未済額が1900万円と前年度の収入未済額とあまり変わっていない。徴収を強化するといった取り組みが必要であると思うが見解を伺う。

答 高井税務出納課長

徴収強化の取り組みということだが、税務出納課はもとより、住民福祉課、診療所などと連携して保険証及び資格証明書の交付事務要領の見直しを行っている。分納誓約を結び、保険証や資格証明書の交付をしている。

農林水産業費

すき昆布の水揚げが極端に下がっているが

大上浩史 委員



問 すき昆布の水揚げが極端に毎年下がっている要因は、販売ができないこととすき昆布をやる漁師さんがいなくなったことが要因だと思うが見解を伺う。

答 征屋村長

すき昆布は消費量が少ない。新商品やすき昆布を今一度PRを広くしたい。

すき昆布にする前の昆布などを使った商品を作り出し生産量を増やして漁師さんが生産できるように取り組んでいきたい。

農林水産業費

中山間地区は

齊藤正明 委員



問 中山間地域等傾斜度等測量調査業務委託料について、中山間地区はどこにあたるのか。

答 山崎農林商工課長

中山間地域は5度以上の傾斜地が必要な田んぼであり、茂市地区になっている。



交付要件(傾斜度)を満たす茂市地区の田んぼ

決算特別委員会 質疑

総務費

校舎の設計時期は

金子泰男 委員



問 教育施設等整備基金について、校舎の設計はいつ頃か。また、どれくらいの予算規模となるか。

答 菅野教育次長

校舎の設計の時期は、令和9年度の開校を目指すので令和5年度に実施設計等の作業事務を行いたい。予算規模については、まだ場所が確定していないのでまだお話しできる段階ではない。

総務費

結婚応援プロジェクト推進事業の成果は

正路正敏 委員



問 結婚応援プロジェクト推進事業の成果を伺う。

答 佐々木政策推進室長

入会登録が8名。退会者7名で現在1名となっている。その中で結婚まで至った方は男女合わせて3名となっている。

民生費

「つちのこ保育園」給付事業

大上智 委員



問 村内の子どもの入所人数と保護者の選定理由をどう感じているか伺う。

答 道下住民福祉課長

令和3年度は中途から2名の入所であった。選定理由は、細かく聞いてはいないが、幼少期の成長・育成を野外活動で育むという教育方針の保護者が利用しているものと思われる。村としては園と定期的にミーティングを行っている。

衛生費

健康増進事業の対象人数と受診率は

松葉明人 委員



問 健康増進事業の対象人数と受診率、また前年度対比を伺う。

答 道下住民福祉課長

健康増進事業の対象者は1226人。受診者は436人で受診率は35.6%。前年対比は対象者で7人減。受診者で56人の増、受診率では5%ほど増している。

農林水産業費

昆布加工効率化実証事業の結果資料を

嵯峨典行 委員



問 昆布加工効率化実証事業委託料50万円とあるが、この事業は数年前から数回やっているが、その結果について、その結果資料が議会に示されていないが。

答 大村建設水産課長

漁業者の方には報告会のようなものは開催しているが、確かに議会さんには出してない。主要な部分だけでも提出したいと思う。



つちのこ保育園前の遊び場



ページ	議員名	質問内容
10	ふるぬまかずや 古沼和也 議員	1. 村長の4期目の出馬の意思は 2. 公約の達成状況は
11	おおかみさとし 大上智 議員	1. 定置網組合に対する支援を 2. ナラ枯れの現状・今後の取り組みは 3. 村の自主防災組織の内訳は
12	まつばあきひと 松葉明人 議員	1. 特別職の報酬 2. 空き家の具体的な施策は
13	さいとうまさあき 齊藤正明 議員	1. 生活排水処理施設整備 2. 運転免許自主返納者への支援を

「一般質問」村政を問う

漁法の複数化・水揚げ増対策に支援事業を

具体的な現場の取り組みアクションに協力
—— 梶屋村長

大上 智



定置網組合に対する支援

質問 近年のサケ不漁に直面している経営体再生のため当面の乗り切り策として、サブ・イワシ漁獲に使用する小目網を制作・所有できる事業導入を漁協と共に図るべきである。

答弁 単なる漁具購入には、国・県とも利用できない補助事業はないが、不漁対策に資する漁具等については、「水産業成長産業化沿岸地域創出事業」のリース方式によるもの等への取り組みは可能と思われる。来年度事業として、関係団体の協議等の現場のアクションがあれば、村として積極的に協力していく考えである。

ナラ枯れの現状・今後の取り組み

質問 現状の被害範囲・拡大防止策・近隣市町村との連携体制についての見解は。

「一般質問」村政を問う

村長の4期目の出馬の意思はあるか

しかるべき時期に方向付けしてまいる
—— 梶屋村長

古沼和也



定置網組合に対する支援

質問 近年のサケ不漁に直面している経営体再生のため当面の乗り切り策として、サブ・イワシ漁獲に使用する小目網を制作・所有できる事業導入を漁協と共に図るべきである。

答弁 単なる漁具購入には、国・県とも利用できない補助事業はないが、不漁対策に資する漁具等については、「水産業成長産業化沿岸地域創出事業」のリース方式によるもの等への取り組みは可能と思われる。来年度事業として、関係団体の協議等の現場のアクションがあれば、村として積極的に協力していく考えである。



印がつけられたナラ枯れの被害木

公約の達成状況は

質問 村長は、3期目の公約で小中一貫校の早期建設、2022年度内の新しい市場の建設、人口減少対策などを掲げたわけだが、未だ達成できていないと思うがこの状況をどう考えているか伺う。

答弁 村長は、3期目の公約で小中一貫校の早期建設、2022年度内の新しい市場の建設、人口減少対策などを掲げたわけだが、未だ達成できていないと思うがこの状況をどう考えているか伺う。

村の自主防災組織

質問 村の自主防災組織8団体の内訳は。

答弁 旭日区自主防災会、普代上区自主防災会の2組織と、婦人消防クラブの6班で全村世帯をカバーしている。



旭日区に設置されている防災資材倉庫

村の自主防災組織

質問 村の自主防災組織8団体の内訳は。

答弁 旭日区自主防災会、普代上区自主防災会の2組織と、婦人消防クラブの6班で全村世帯をカバーしている。

村の自主防災組織

質問 村の自主防災組織8団体の内訳は。

答弁 旭日区自主防災会、普代上区自主防災会の2組織と、婦人消防クラブの6班で全村世帯をカバーしている。

村の自主防災組織

質問 村の自主防災組織8団体の内訳は。

答弁 旭日区自主防災会、普代上区自主防災会の2組織と、婦人消防クラブの6班で全村世帯をカバーしている。



松葉明人

空き家の具体的な対応策は

所有者自身の取り組みを促す

—— 榎屋村長

特別職の報酬

質問 特別職の報酬等は年額・月額・日額とある訳だが、算定の基準と年額報酬等を決定した期日を村長に伺う。

答弁 榎屋村長 明確な基準、確認をできていないところである。特別職の給与等条例での現行の年額の本則規定は、平成25年4月からとなっている。

質問 平成25年からとすると、約10力年近く議論がされていないというのはいかがなものか。

答弁 榎屋村長 記録的な漁業の不漁、さらにはコロナも出てしまった。私から申し上げなくても担当課のところでも判断・検討は進めていないという現状である。

質問 報酬等の審議会等を開くというのはその時々々の情勢に応じて答申を聞いてみることは大事だと思ふ。値上げありきではない。コロナ禍、基幹



齊藤正明

生活排水処理施設整備の目標は

令和6年度末で普及率55.3%を目指す

—— 榎屋村長

生活排水処理施設整備

質問 本村の汚水処理施設整備事業実施状況及び汚水処理人口普及状況は。

答弁 榎屋村長 漁業集落排水施設が太田名部に1施設265人。合併処理浄化槽施設で個人分が241基、公学分が40基、合計281基824人である。

質問 改正浄化槽法が成立しているが、現在の取り組みは。

答弁 榎屋村長 平成24年度から村単独で6割分のかさ上げ補助。また、令和元年度から村単独でリフォーム補助の10万円のかさ上げも行っている。

質問 今後の整備手法と整備目標は。

答弁 榎屋村長 現在は集落排水や公共下水道の計画はなく、太田名部以外の全ての地区において合併処理浄化槽を

空き家の具体的な対応策は

質問 普代村で空き家の件数と比率、今後ますます増えてくると思われる空き家の具体的な施策を村長に伺う。

答弁 榎屋村長 住家専用住宅1032戸のうち、空き家は83戸、その比率は8.0%。個人の財産である空き家所有者が適切に管理すべきであることを原則とした上で、県の空き家相談窓口の活用もご案内をしながら、所有者ご自身の取り組みを進めていただければよい。

質問 坪3万円〜5万円と言われる解体



漁業集落排水施設整備事業の処理場

運転免許自主返納者への支援

整備していくよう取り組みとしている。目標については、令和6年度末で普及率55.3%を目指し、3年間で24基程度の整備を計画している。

質問 今後高齢者の移動支援など、久慈

広域首長間で話し合いをして、交通機関、企業、団体等とも連携をすべきと思ふが見解を伺う。

費。相続の時点で対応することを考えていただきたいと思う。

答弁 榎屋村長 同じような考え方をしている。県の空き家相談窓口で解体の部分や実際ののくらかかるのか、相談に専門家が応じてくれることになっている。

松葉議員 個人所有のものなので、

個人が処理をする、それがベストだと思う。どんなにお願いしても解体をできない、しない、そうならないと思う。そういうこと行政の方で代執行するしかないと思う。そういうことのないように今からそういう施策をお考えいただきたい。住民の不利益にならないようによりしくお願いしたい。



普代村で空き家バンクに登録されている住宅



漁業集落排水が整備されている太田名部地区

答弁 榎屋村長 本村では村営バスを完全無料化している。運行密度、経路、乗降場所など、利便性の向上を検討していく。村のエリアを越えての移動支援については、

三陸鉄道では運転経歴証明書を提示すれば半額サービスを行っている。そういった取り組みが広域管内の市町村営バスでできるものか、話し合いができるかを含め考えさせていただきたい。

《起業時の問題点》⇒ キクラゲに散水するにあたり、旧教室の床面の防水・排水設備工事が必要であったことや旧校舎内の産業廃棄物の処理に困った。

《課題》⇒ 県内に菌床製造プラントは1カ所しかなく、現在は徳島県に菌床作製を発注。以前は産地名を栽培地にできたが、現在は菌床作製地としなければならないため、「青森きくらげ」は徳島産表示としている。また、白キクラゲは乾燥すると茶色に変色するので生出荷のみ。リンゴの木くず等を使用した菌床製造をし、青森ブランド化を図りたいが、菌床プラント建設資金1.5億円が必要。

視察場所②「青い森紅^{くれない}サーモン」養魚場（青森県三戸郡新郷村・虹鱒屋）

自然河川で、自然の高低差を利用し、新郷村管内の3カ所で一部釣り堀場を併設した養魚場を営し、ニジマス・ヤマメ・イワナ・イトウ・ブラウントラウト・スチールヘッド等、東北でも1位・2位の魚種を扱って生産している。また、青森県産業技術センター内水面研究所が、青森系ニジマスのメスと大型種のドナルドソトラウトのオスから約15年の歳月をかけて開発した3倍体魚（ハイブリッド魚）「青い森紅サーモン」の、厳しい基準をクリアした指定養魚場となっている。

また源流に近いので、清流であり比較的低温であることや水量（毎分40～50t）豊富な養魚場もあるため、内水面研究所で採卵した種卵を譲り受け、自家水槽（湧水）で孵化させ生産に供している。

《課題》⇒ 自然河川のため大雨等の災害は避けられないことや、淡水飼育のため成長に時間がかかる。災害保険の制度がないため一度の災害で大きな損失を被ったり、大雪の際、雪に水分を吸収され川が枯渇する。源流に近いので、熊の出没（近年、毎年8頭捕獲）でエサや給餌設備に被害を受けている。

販売先は、県内に限定。魚病のIHNVウイルス病（伝染性造血器壊死症）の予防に気を遣っている。

《今後の取り組み》⇒ 県からの要請を受け、来年度は30t（本年17t）の生産を目指し現在養魚池を増設建設中。

全国に100種類以上のご当地サーモンが存在。青森リンゴと青森ニンニクを練り込んだエサ料ペレットでブランド化を図りたい。



虹鱒屋代表の現地説明

7月5日と6日の2日間、青森県において産業経済常任委員会視察研修が行われました。1日目は、五所川原市の廃校舎を活用し青森きくらげを栽培している「りんごの里ひらかわファーム」を視察。2日目は、三戸郡新郷村にある「虹鱒屋」にて河川水を使用したニジマス養魚場を視察しました。

視察内容について、8月2日第6回臨時会にて大上智委員長より報告がなされましたので、一部内容を抜粋し掲載いたします。



産業経済常任委員会調査報告書

1 視察者

（委員長）大上 智 （副委員長）大上 浩史 （委員）正路 正敏、松葉 明人
（総務常任委員会 委員長）古沼 和也

2 調査の概要及びまとめ

視察場所①「青森きくらげ」栽培施設（青森県五所川原市・ひらかわファーム）

青森県のキノコの主要品目であるシイタケは、夏場に生産量や販売単価が落ち込むことから、夏場でも収入・生産量が確保できる品種として青森県産業技術センター林業研究所が、野生株のアラゲキクラゲ同士の交配・選抜の研究をし、生鮮品で販売可能なアラゲキクラゲの新種を開発。今では民間の経営体で栽培・販売している。

旧小学校の廃校舎を活用し、シイタケ、ナメコと夏場にも強いキクラゲを新たな品目に加え冬場は地熱利用により年間サイクルを組みながら菌床栽培に取り組んでいる。キクラゲの国内消費量のほとんどが海外からの乾燥品輸入のものであるが、「青森きくらげ」は生鮮品で販売可能。生産・販売振興会では、生出荷の場合5cm以上の大きさを目安としていて、現在年間3サイクルで主に夏場を中心に年間を通して栽培。

農と福祉で連携の取り組みもしており、近くの福祉施設利用者から栽培施設内の清掃作業をしていただいている。



キクラゲ栽培の様子

議会の動き

(8月臨時会～9月定例会 諸報告より)

月 日	場 所	事 項	出 席 者
6月17日	役 場	村議会第5回定例会	各議員
		総務常任委員会	各委員
		議会運営委員会	各委員
18日	高齢者活動施設	ふだいまつり上組事務所開き	議長
19日	滝 沢 市	岩手駐屯地創立六十五周年記念行事	議長、大上智議員
27日	盛 岡 市	国道45号盛岡普代間道路整備促進期成同盟会通常総会	議長
	宮 古 市	岩手県沿岸知的障害児施設組合議会臨時会	正路議員
7月4日	久 慈 市	八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会要望活動	議長
	盛 岡 市	岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会	松葉議員
5～6日	青森県五所川原市ほか	産業経済常任委員会視察研修	大上智委員長、大上浩史副委員長、正路・松葉委員、古沼議員
6日	宮 古 市	国道340号宮古岩泉間整備促進期成同盟会総会	議長
13～14日	くろさき荘・村内	(株)タカギ代表取締役会長歓迎会・村内視察	議長
14～15日	田野畑村	県町村議会議長会第1回政務調査会・研修会	議長
15日	普代浜園地キラウミ	普代浜園地キラウミ安全祈願	副議長
	役 場	議員全員協議会	各議員
20日	くろさき荘	移住者と議員との懇談会	各議員
25日	盛 岡 市	国道281号整備促進期成同盟会総会	議長
28～29日	盛 岡 市	第53回町村議会夏季議員大学講座	松葉・森田・齊藤議員
8月2日	役 場	議会運営委員会	各委員
		村議会第6回臨時会	各議員
5日	管理センター	戦没者追悼式	各議員
17日	久 慈 市	久慈地区市町村議会連絡協議会定例総会	議長、副議長
19日	役 場	市町村からの要望	各議員
20日	太田名部漁港	漁港検診	各議員
23日	盛 岡 市	県町村議会議長会第60回知事を囲む懇談会	議長
30～31日	東 京 都	県町村議会議長会中央研修会、岩手県選出国会議員との懇談会	議長、副議長
9月2～4日	村 内	ふだいまつり	各議員
7日	役 場	議会運営委員会	各委員

8/2 第6回臨時会

審議した案件は、令和4年度一般会計補正予算、令和4年度国民健康保険診療施設・同休養施設事業特別会計補正予算、財産取得のほか、普代川治水対策上区地区排水ポンプ整備工事（土木工事）の変更請負契約の締結など、5議案を全員賛成および賛成多数で原案可決しました。主な内容は次のとおりです。

▽令和4年度一般会計補正予算（第4号）

補正額4億7340万8千円を増額し、総額37億3401万8千円としました。
歳出では、各種積立金を合計で2億9115万3000円、土地購入費7845万9000円をそれぞれ増額したほか、村道4路線の補修や支障木伐採工事費等1280万円の増額など。

▽財産の取得に関し議決を求めること

スクールバス（えんじゅ号）の老朽化に伴い、新たに買い入れるものです。
取得予定価格は、909万2310円。取得先は、盛岡いすゞモーター株式会社久慈営業所。
令和4年度内の納車を予定。

▽普代川治水対策上区地区排水ポンプ整備工事（土木工事）の変更請負契約の締結

工法変更に伴う増額により、当初の契約金額8580万円から2192万8500円を増額しました。変更後の金額は1億772万8500円となるもの。



普代川治水対策上区地区排水ポンプ整備事業の様子



ピアノを頑張っています!!

おおかみ ゆい
大上 結衣さん(15)

自然豊かで人との関りがたくさんある普代村が大好きです。

将来の夢は今は特にないけど、人の役に立ちたいです!

みんなが集まれるところや、子供達が遊べる場所が欲しいです。

今普代村は人口が減っているの、人口が増えたり、観光客を増やしたりして、普代村を今よりももっと活性化してほしいです。😊



人を笑顔にしたい!!

おおた れお
太田 凛音さん(15)

私は人と人との関りがあって、優しく温かい普代村が好きです。

今は受験勉強を頑張っていて、将来の夢は決まっていなくても、人を笑顔にできる職に就けたらと思っています。

古い建物が多いので新しくするなど、これからもよりよい村を造り続けてほしいです。

これからもずっと故郷の普代に感謝を忘れないようにしたいです。😊



大上智広報委員

広報委員からの返信



嵯峨典行広報委員長

私も普代村が大好きです。誇りをもって普代村の自然・元気を守りたいです。

村の構想にはありますが、大型遊具を備えた、みんなが集える普代浜園地キラウミが実現するといいですね。

これからの素晴らしい夢発見の高校生活、応援しています。頑張って!!

人を笑顔にできる職に就きたいという思いは大変すばらしい事だと思います。

人間同士が笑顔で接すれば争いごとも起きず、平和な生活が送れると思います。

古い建物に関しては精査して村に提案していきたいと思っています。

最後になりますが、受験勉強頑張って下さい。

議長	中村 裕
発行責任者	
議会広報常任委員会	
委員長	嵯峨 典行
副委員長	松上 明人
委員	古大 智也
委員	古沼 和也



あとがき

今年も残すところあと2カ月。新型コロナウイルス感染症が増えてきました。が、予防対策に努めましょう。

11月からいろんなものが値上げされます。電気を節約しながら、一枚でも二枚でも多く着込んで乗り越えましょう。

(松葉明人)

ふだいまつりや文化祭など、村内各種行事がコロナ前ほどではなくても、通常開催されてきていることは嬉しい限りです。その中でも、感染対策はしっかり行い、健康管理に努めましょう。

(古沼和也)

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。



ふだい議会だよりはスマートフォンでもご覧になれます。



■発行日 令和4年11月10日 ■発行 普代村議会 ■編集 議会広報常任委員会
〒028-8392 岩手県下閉伊郡普代村第9地割字銅屋13番地2
TEL 0194-35-2118 FAX 0194-35-2712